

Ⅲ. 調査結果の分析 (在勤者意識調査)

1. 回答者の標本構成

(1) 性別

属性	回答者数	比率
男性	369	50.5%
女性	345	47.3
選べない・ 答えたくない	3	0.4
無回答	13	1.8
全体	730	100.0

(2) 年代

属性	回答者数	比率
18～19歳	6	0.8%
20代	92	12.6
30代	117	16.0
40代	225	30.8
50代	199	27.3
60代	73	10.0
70歳以上	5	0.7
無回答	13	1.8
全体	730	100.0

(3) 居住地域

属性	回答者数	比率
近隣市北部	136	18.6%
近隣市南部	97	13.3
埼玉県西部及び秩父地域	123	16.8
埼玉県東部地域	186	25.5
埼玉県北部地域	20	2.7
東京都23区	62	8.5
その他の東京都	21	2.9
千葉県	35	4.8
神奈川県	7	1.0
その他	29	4.0
無回答	14	1.9
全体	730	100.0

(4) 在勤区

属性	回答者数	比率
西区	39	5.3%
北区	66	9.0
大宮区	113	15.5
見沼区	66	9.0
中央区	62	8.5
桜区	92	12.6
浦和区	80	11.0
南区	46	6.3
緑区	53	7.3
岩槻区	100	13.7
無回答	13	1.8
全体	730	100.0

(5) さいたま市内での在勤年数 (合併前も含む)

属性	回答者数	比率
1年未満	64	8.8%
1～3年未満	84	11.5
3～5年未満	117	16.0
5～10年未満	127	17.4
10～20年未満	188	25.8
20年以上	135	18.5
無回答	15	2.1
全体	730	100.0

(6) 通勤時間

属性	回答者数	比率
30分未満	142	19.5%
30分～1時間未満	296	40.5
1時間～1時間半未満	192	26.3
1時間半～2時間未満	78	10.7
2時間以上	8	1.1
無回答	14	1.9
全体	730	100.0

(7) 通勤手段

属性	回答者数	比率
電車	426	58.4%
路線バス	8	1.1
送迎バス	1	0.1
自家用車	228	31.2
バイク	15	2.1
自転車	24	3.3
徒歩	6	0.8
その他	8	1.1
無回答	14	1.9
全体	730	100.0

(8) 家族構成

属性	回答者数	比率
一人暮らし	91	12.5%
夫婦だけ	127	17.4
親子(2世代)	443	60.7
親と子と孫(3世代)	41	5.6
その他	15	2.1
無回答	13	1.8
全体	730	100.0

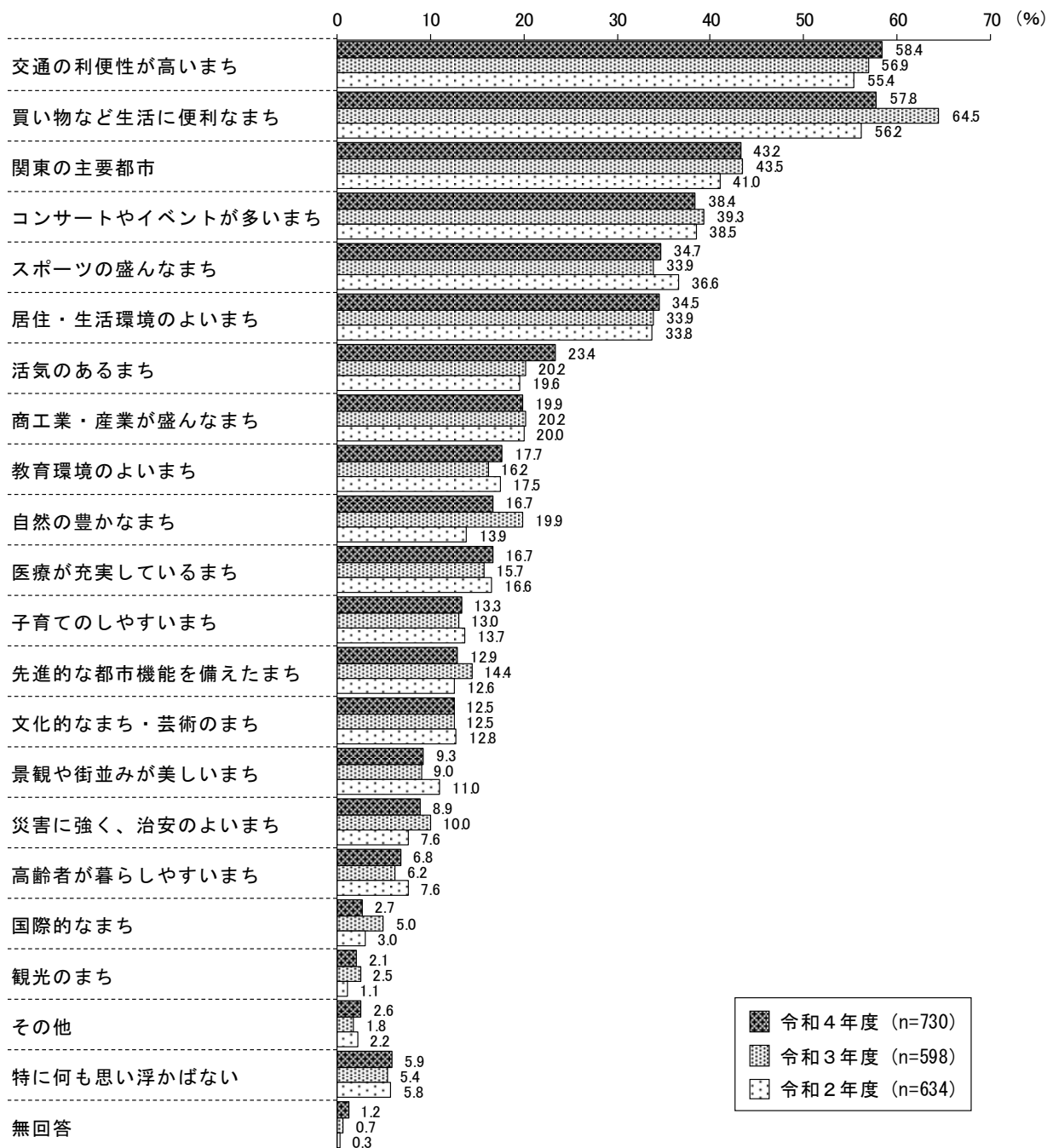
2. さいたま市のイメージ

(1) さいたま市のイメージ

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

図2-1-1 さいたま市のイメージ



全体結果

「交通の利便性が高いまち」が58.4%で最も高く、「買い物など生活に便利なまち」(57.8%)、「関東の主要都市」(43.2%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和3年度と比べ「買い物など生活に便利なまち」が6.7ポイント減少した。(図2-1-1)

表 2-1-1 さいたま市のイメージ-性別、年代別、居住地域別- (上位 11 項目)

	n	交通の利便性が高いまち	買い物など生活に便利なまち	関東の主要都市	コンサートやイベントが多いまち	スポーツの盛んなまち	居住・生活環境のよいまち	活気のあるまち	商工業・産業が盛んなまち	教育環境のよいまち	自然の豊かなまち	医療が充実しているまち
全 体	730	58.4	57.8	43.2	38.4	34.7	34.5	23.4	19.9	17.7	16.7	16.7
< 性別 >												
男 性	369	58.5	52.0	47.7	37.4	39.0	34.4	22.2	22.0	16.3	17.9	18.2
女 性	345	58.8	64.1	39.7	39.7	30.1	34.8	25.5	17.4	19.4	15.4	15.7
< 年代別 >												
18 ~ 29 歳	98	68.4	62.2	38.8	38.8	31.6	43.9	29.6	18.4	15.3	14.3	15.3
30 代	117	60.7	66.7	37.6	42.7	35.9	43.6	27.4	17.1	16.2	14.5	12.8
40 代	225	57.3	60.9	45.8	40.4	34.7	28.0	20.9	19.1	18.2	11.6	16.4
50 代	199	56.8	50.8	46.2	36.7	34.2	35.7	24.1	22.6	16.6	20.6	16.1
60 代	73	52.1	50.7	46.6	31.5	38.4	24.7	17.8	20.5	24.7	26.0	28.8
70 歳以上	5	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
< 居住地域別 >												
近隣市北部	136	64.0	69.9	40.4	35.3	39.7	38.2	24.3	22.8	18.4	16.2	23.5
近隣市南部	97	47.4	55.7	37.1	29.9	39.2	37.1	21.6	17.5	24.7	18.6	13.4
埼玉県西部及び秩父地域	123	59.3	56.9	49.6	52.0	30.1	30.1	29.3	25.2	20.3	13.8	12.2
埼玉県東部地域	186	62.9	61.8	44.6	36.0	31.7	32.8	25.3	19.9	13.4	16.1	23.1
埼玉県北部地域	20	75.0	60.0	50.0	45.0	30.0	30.0	35.0	30.0	25.0	15.0	20.0
東京都 23 区	62	38.7	40.3	29.0	33.9	33.9	41.9	16.1	9.7	22.6	22.6	4.8
その他の東京都	21	47.6	52.4	47.6	42.9	38.1	33.3	23.8	14.3	4.8	19.0	9.5
千葉県	35	57.1	45.7	48.6	28.6	28.6	17.1	14.3	11.4	14.3	14.3	8.6
神奈川県	7	71.4	28.6	71.4	57.1	85.7	71.4	42.9	14.3	42.9	28.6	-
そ の 他	29	79.3	51.7	58.6	51.7	31.0	37.9	10.3	20.7	-	13.8	20.7

属 性 別

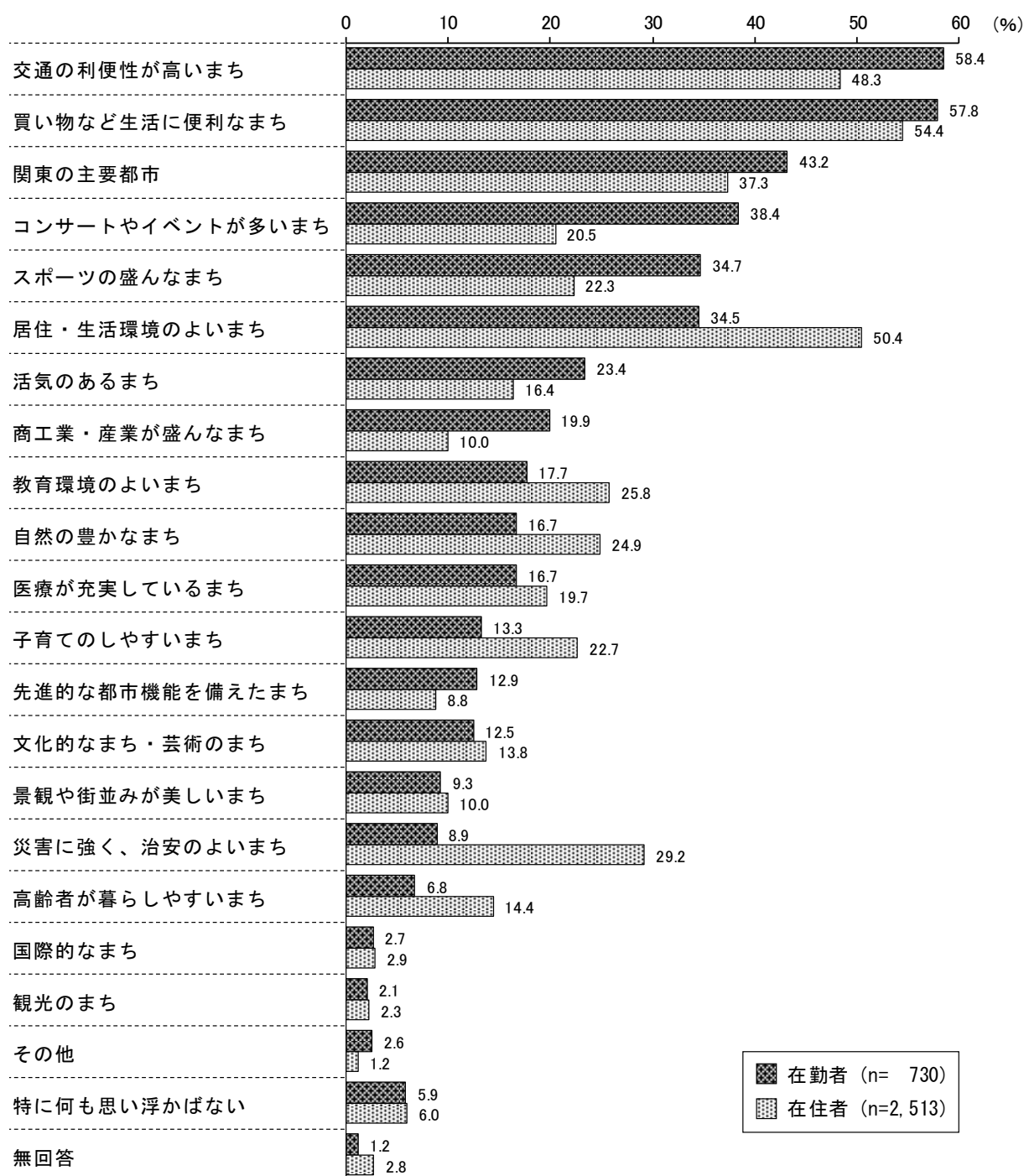
性別でみると、「買い物など生活に便利なまち」は、女性（64.1%）が男性（52.0%）より 12.1 ポイント高く、「関東の主要都市」、「スポーツの盛んなまち」は、男性が女性より 8 ポイント以上高かった。

年代別でみると、「交通の利便性が高いまち」は年代が下がるにつれ高くなり、18～29 歳で 68.4% であった。

居住地域別でみると、「買い物など生活に便利なまち」は「近隣市北部」（69.9%）、「コンサートやイベントが多いまち」は「埼玉県西部及び秩父地域」（52.0%）で高かった。（表 2-1-1）

(2) さいたま市のイメージ【在住者と在勤者比較】

図2-2-1 さいたま市のイメージ【在住者と在勤者比較】



全体結果

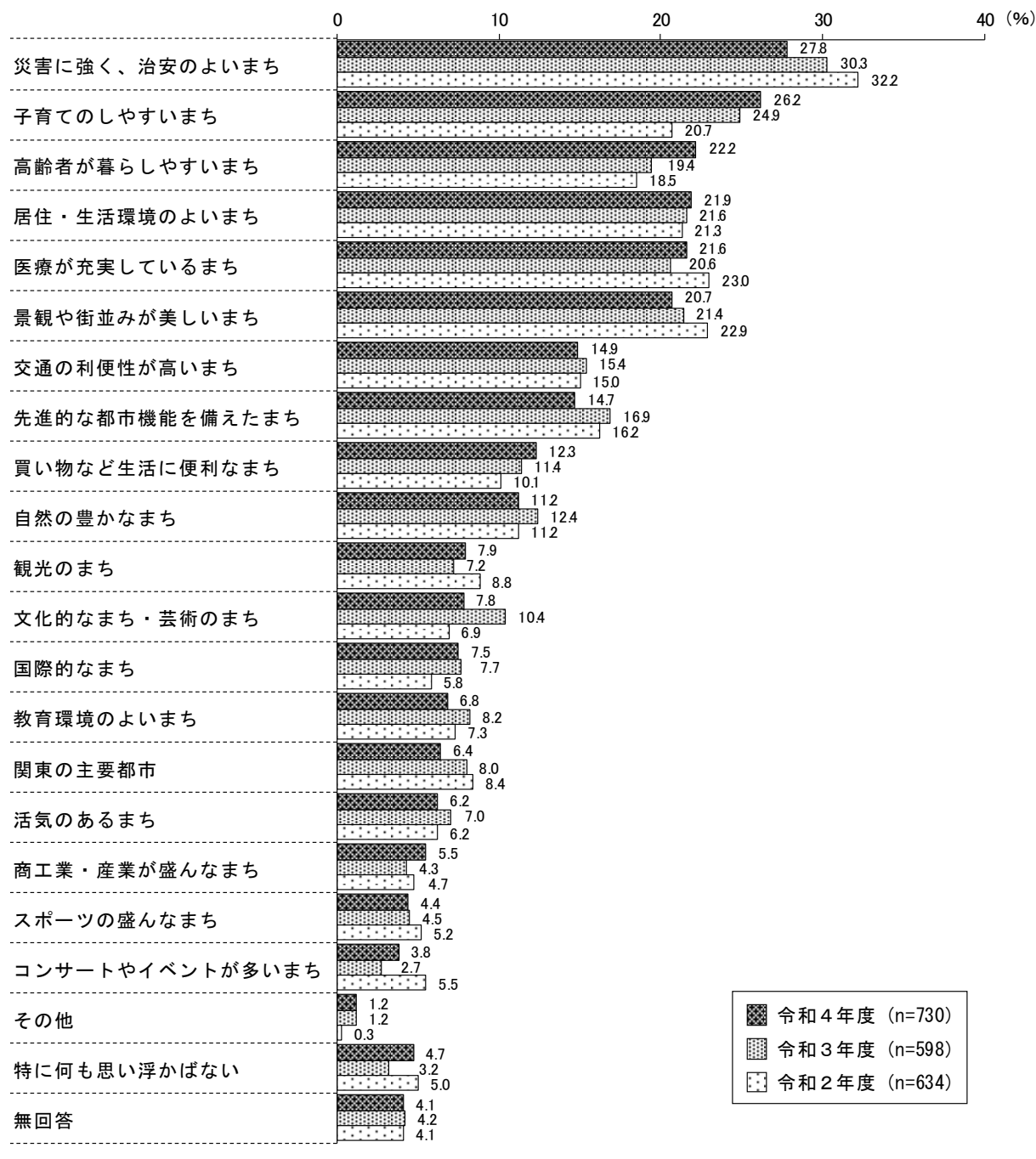
「コンサートやイベントが多いまち」は17.9ポイント、「スポーツの盛んなまち」は12.4ポイント、「交通の利便性が高いまち」は10.1ポイント、在勤者が在住者より高かった。一方、「災害に強く、治安のよいまち」は20.3ポイント、「居住・生活環境のよいまち」は15.9ポイント、在住者が在勤者より高かった。(図2-2-1)

(3) さいたま市の発展の方向性

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(2) あなたは、「さいたま市」が今後いっそう魅力的な都市になるためには、将来どのような方向へ発展するとよいと思いますか。(〇は3つまで)

図2-3-1 さいたま市の発展の方向性



全体結果

「災害に強く、治安のよいまち」が27.8%で最も高く、「子育てのしやすいまち」(26.2%)、「高齢者が暮らしやすいまち」(22.2%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「子育てのしやすいまち」が増加傾向にある一方、「災害に強く、治安のよいまち」は減少傾向にある。(図2-3-1)

表 2-3-1 さいたま市の発展の方向性—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

	n	の災害に強く、治安	子育てのしやすいまち	高齢者が暮らしやすいまち	居住・生活環境のよいまち	医療が充実しているまち	景観や街並みが美しいまち	交通の利便性が高いまち	先進的な都市機能を備えたまち	便利なまちなど生活に	自然の豊かなまち
全 体	730	27.8	26.2	22.2	21.9	21.6	20.7	14.9	14.7	12.3	11.2
< 性別 >											
男 性	369	24.1	24.4	20.6	22.8	18.7	22.5	15.4	17.9	10.8	12.7
女 性	345	31.6	27.8	24.1	20.9	24.3	19.4	14.5	11.3	13.9	9.9
< 年代別 >											
18 ~ 29 歳	98	29.6	28.6	9.2	26.5	10.2	24.5	18.4	17.3	10.2	19.4
30 代	117	30.8	37.6	15.4	23.1	22.2	17.9	17.1	11.1	12.0	11.1
40 代	225	24.9	26.2	21.3	20.0	20.0	25.3	12.9	15.1	14.2	12.0
50 代	199	25.1	18.1	27.1	21.6	27.1	18.1	17.6	17.1	14.6	8.5
60 代	73	38.4	26.0	37.0	19.2	26.0	17.8	8.2	9.6	4.1	5.5
70 歳以上	5	-	20.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-	-	20.0
< 居住地域別 >											
近 隣 市 北 部	136	32.4	25.0	24.3	23.5	30.1	18.4	14.0	14.0	9.6	11.0
近 隣 市 南 部	97	22.7	26.8	23.7	16.5	33.0	19.6	17.5	10.3	13.4	10.3
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	123	30.1	22.0	20.3	18.7	17.1	21.1	15.4	16.3	14.6	13.8
埼 玉 県 東 部 地 域	186	28.0	22.0	24.7	21.0	18.8	21.5	13.4	15.1	10.2	10.2
埼 玉 県 北 部 地 域	20	30.0	35.0	25.0	10.0	15.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0
東 京 都 23 区	62	21.0	33.9	11.3	35.5	17.7	17.7	12.9	19.4	11.3	6.5
そ の 他 の 東 京 都	21	19.0	33.3	19.0	19.0	14.3	23.8	23.8	19.0	19.0	14.3
千 葉 県	35	34.3	28.6	20.0	28.6	11.4	34.3	11.4	11.4	11.4	17.1
神 奈 川 県	7	14.3	42.9	42.9	14.3	-	14.3	42.9	28.6	14.3	-
そ の 他	29	27.6	37.9	20.7	24.1	17.2	31.0	10.3	13.8	24.1	17.2

属 性 別

性別でみると、「災害に強く、治安のよいまち」は、女性（31.6%）が男性（24.1%）より 7.5 ポイント高く、「先進的な都市機能を備えたまち」は男性（17.9%）が女性（11.3%）より 6.6 ポイント高かった。

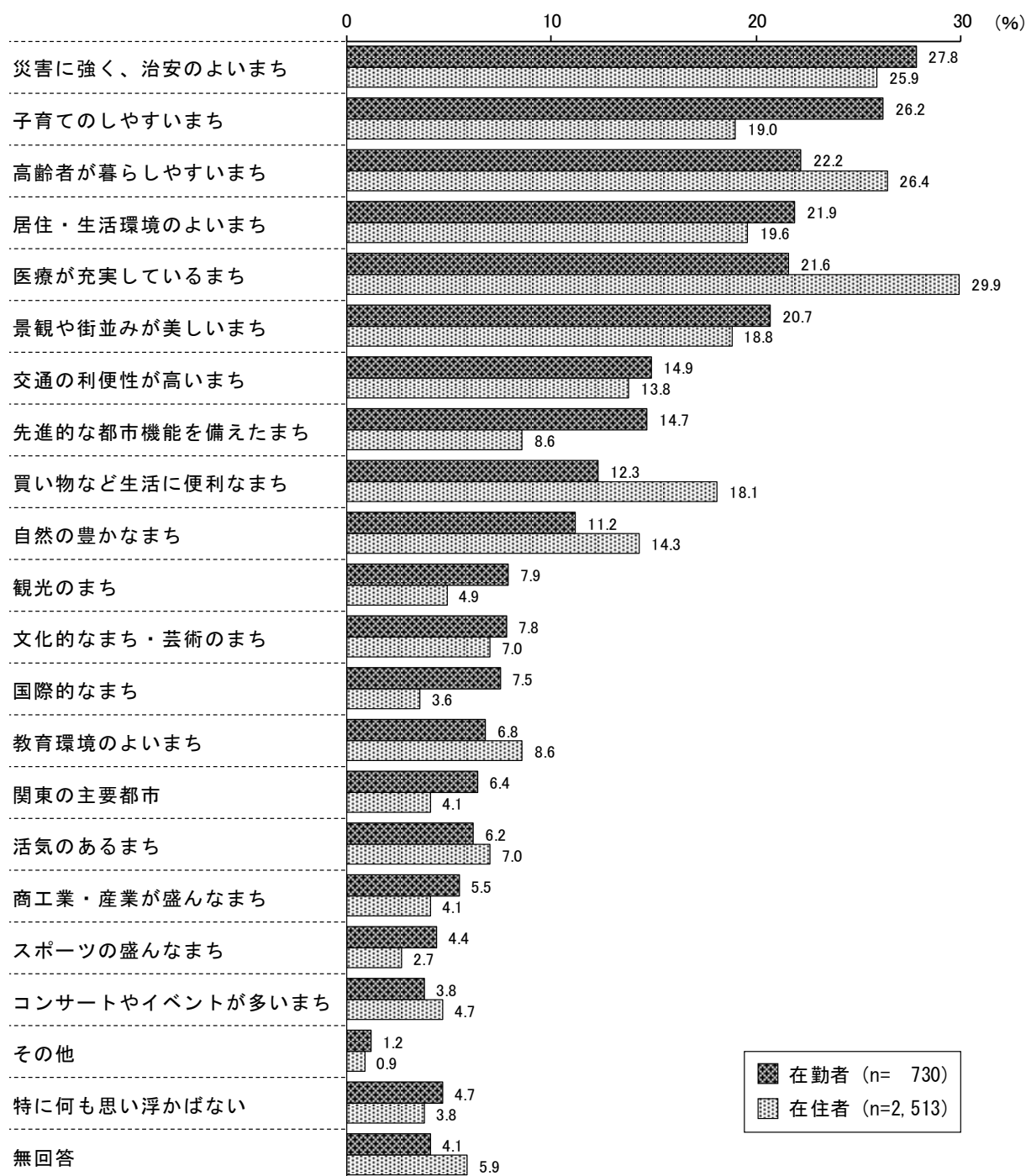
年代別でみると、「災害に強く、治安のよいまち」は 60 代（38.4%）で最も高く、「子育てのしやすいまち」は 30 代（37.6%）で最も高かった。また、「高齢者が暮らしやすいまち」は年代が上がるにつれ高くなった。

居住地域別でみると、「子育てのしやすいまち」、「居住・生活環境のよいまち」は「東京都 23 区」で高く、「医療が充実しているまち」は「近隣市南部」（33.0%）、「近隣市北部」（30.1%）で高かった。

（表 2-3-1）

(4) さいたま市の発展の方向性【在住者と在勤者比較】

図 2-4-1 さいたま市の発展の方向性【在住者と在勤者比較】



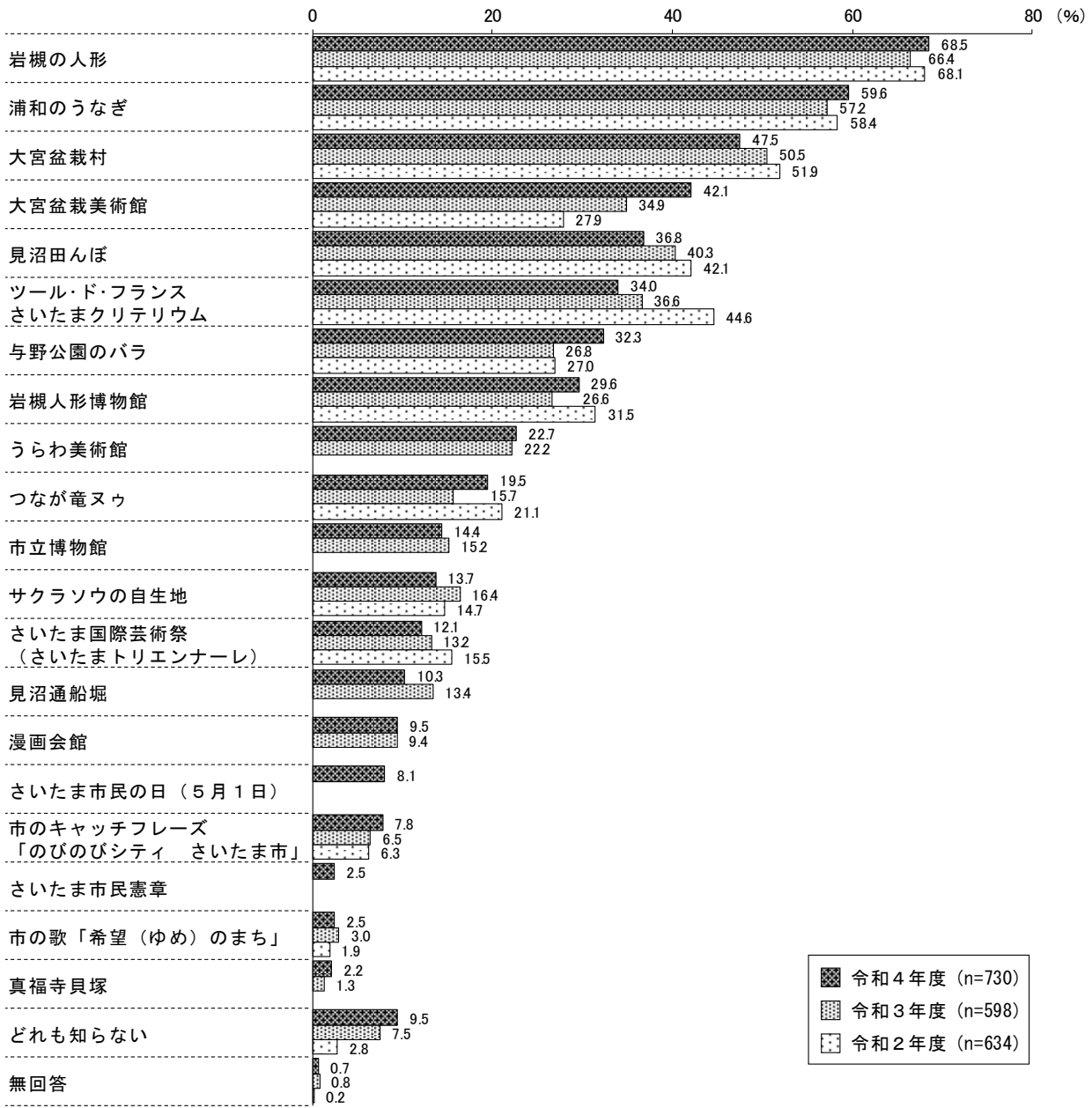
全体結果

「子育てのしやすいまち」は7.2ポイント、「先進的な都市機能を備えたまち」は6.1ポイント、在勤者が在住者より高かった。一方、「医療が充実しているまち」は8.3ポイント、「買い物など生活に便利なまち」は5.8ポイント、在住者が在勤者より高かった。(図2-4-1)

(5) さいたま市について知っているもの

問2 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図2-5-1 さいたま市について知っているもの



(注記1) 「さいたま市民憲章」「さいたま市民の日 (5月1日)」は、令和4年度調査から選択肢に加えた。

(注記2) 「漫画会館」「市立博物館」「うらわ美術館」「見沼通船堀」「真福寺貝塚」は、令和3年度調査から選択肢に加えた。

全体結果

「岩槻の人形」が68.5%で最も高く、「浦和のうなぎ」(59.6%)、「大宮盆栽村」(47.5%)が続いた。過去2年間の調査結果と比較すると、「大宮盆栽美術館」が増加した一方、「見沼田んぼ」、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」は減少傾向にある。(図2-5-1)

表 2-5-1 さいたま市について知っているもの—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

												(%)
	n	岩槻の 人形	浦和の うなぎ	大宮 盆栽村	大宮 盆栽美術 館	見沼 田んぼ	ツール・ド・ フランス さいたま クリテリウム	与野 公園の バラ	岩槻 人形博 物館	うら わ美術 館	つな が竜ヌ ウ	
全 体	730	68.5	59.6	47.5	42.1	36.8	34.0	32.3	29.6	22.7	19.5	
< 性別 >												
男 性	369	64.8	58.0	48.5	40.1	39.0	39.3	27.4	30.9	19.0	14.9	
女 性	345	72.5	60.6	45.8	44.1	33.9	27.5	36.8	28.7	27.0	24.1	
< 年代別 >												
18 ~ 29 歳	98	41.8	30.6	22.4	24.5	20.4	14.3	19.4	21.4	17.3	19.4	
30 代	117	58.1	57.3	28.2	41.0	29.9	26.5	20.5	24.8	21.4	21.4	
40 代	225	68.4	64.0	57.3	50.2	39.6	40.9	35.1	28.9	21.8	22.2	
50 代	199	80.9	64.3	54.3	40.7	39.2	38.7	39.7	31.7	26.1	16.6	
60 代	73	86.3	72.6	60.3	46.6	52.1	37.0	35.6	45.2	26.0	16.4	
70 歳 以 上	5	80.0	80.0	60.0	20.0	60.0	20.0	60.0	40.0	20.0	-	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	136	72.8	64.0	64.0	55.1	46.3	38.2	47.1	36.0	30.1	29.4	
近 隣 市 南 部	97	69.1	78.4	37.1	35.1	48.5	33.0	48.5	23.7	33.0	19.6	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	123	55.3	56.9	37.4	43.1	26.8	41.5	30.1	16.3	17.1	17.9	
埼 玉 県 東 部 地 域	186	89.8	57.0	57.5	42.5	41.4	32.8	28.5	46.8	19.9	17.2	
埼 玉 県 北 部 地 域	20	80.0	80.0	65.0	70.0	35.0	50.0	20.0	20.0	20.0	30.0	
東 京 都 23 区	62	46.8	50.0	27.4	22.6	19.4	19.4	11.3	17.7	21.0	11.3	
そ の 他 の 東 京 都	21	47.6	52.4	42.9	33.3	33.3	19.0	14.3	19.0	9.5	14.3	
千 葉 県	35	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	17.1	11.4	22.9	17.1	8.6	
神 奈 川 県	7	42.9	57.1	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	
そ の 他	29	58.6	62.1	51.7	51.7	27.6	37.9	31.0	17.2	13.8	20.7	

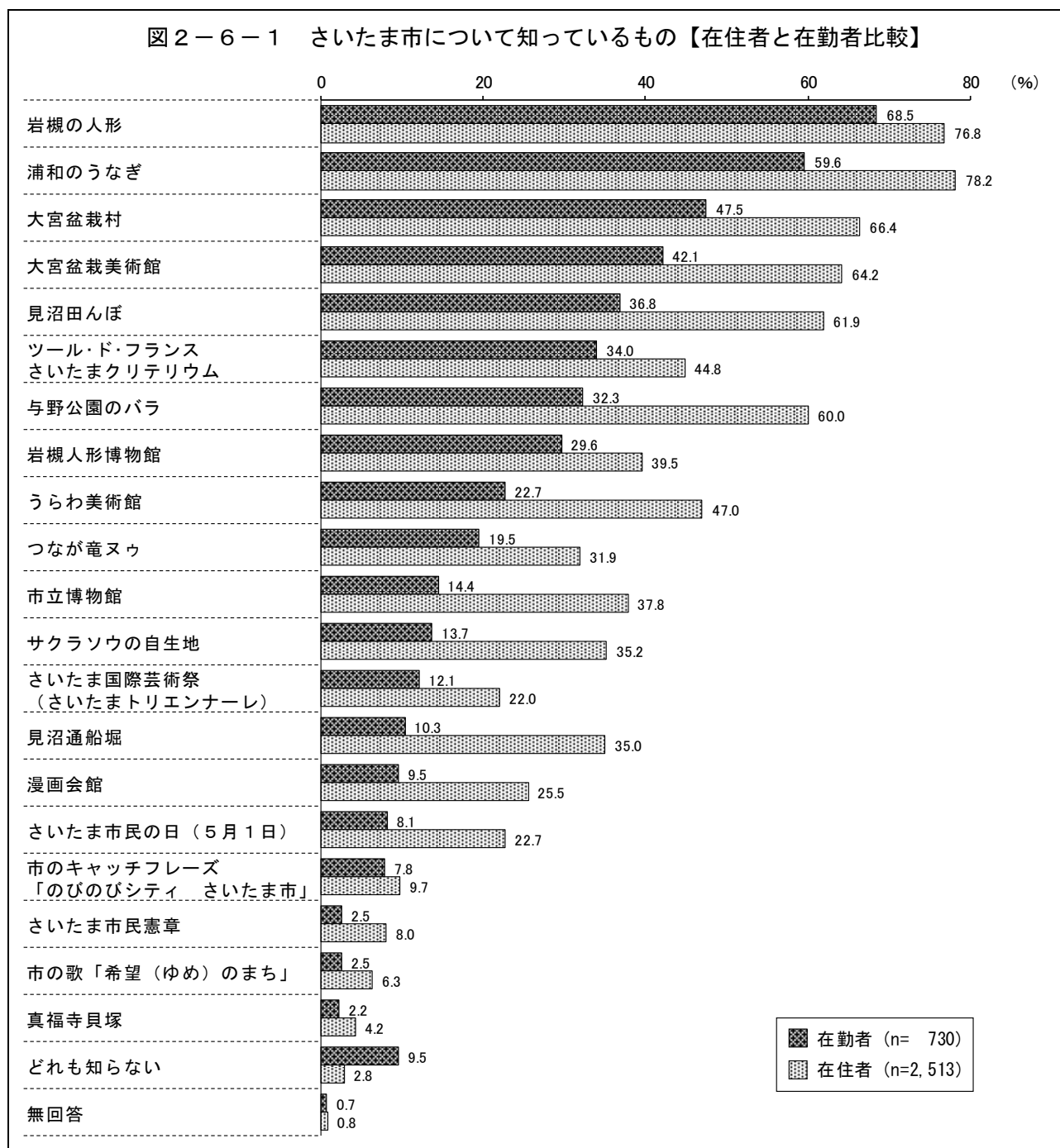
属 性 別

上位 10 項目について、性別でみると、「見沼田んぼ」、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」は男性が女性より高く、「岩槻の人形」、「与野公園のバラ」、「うらわ美術館」、「つなが竜ヌウ」は女性が男性より高かった。

年代別でみると、「岩槻の人形」は 50 代以上で 8 割を超えた。多くの項目で、年代が上がるにつれ高くなる傾向があった。

居住地域別でみると、「岩槻の人形」は「埼玉県東部地域」（89.8%）で 9 割、「近隣市北部」（72.8%）、「近隣市南部」（69.1%）も 7 割前後であった。「浦和のうなぎ」は「近隣市南部」（78.4%）で 8 割近くであった。（表 2-5-1）

(6) さいたま市について知っているもの【在住者と在勤者比較】



全体結果

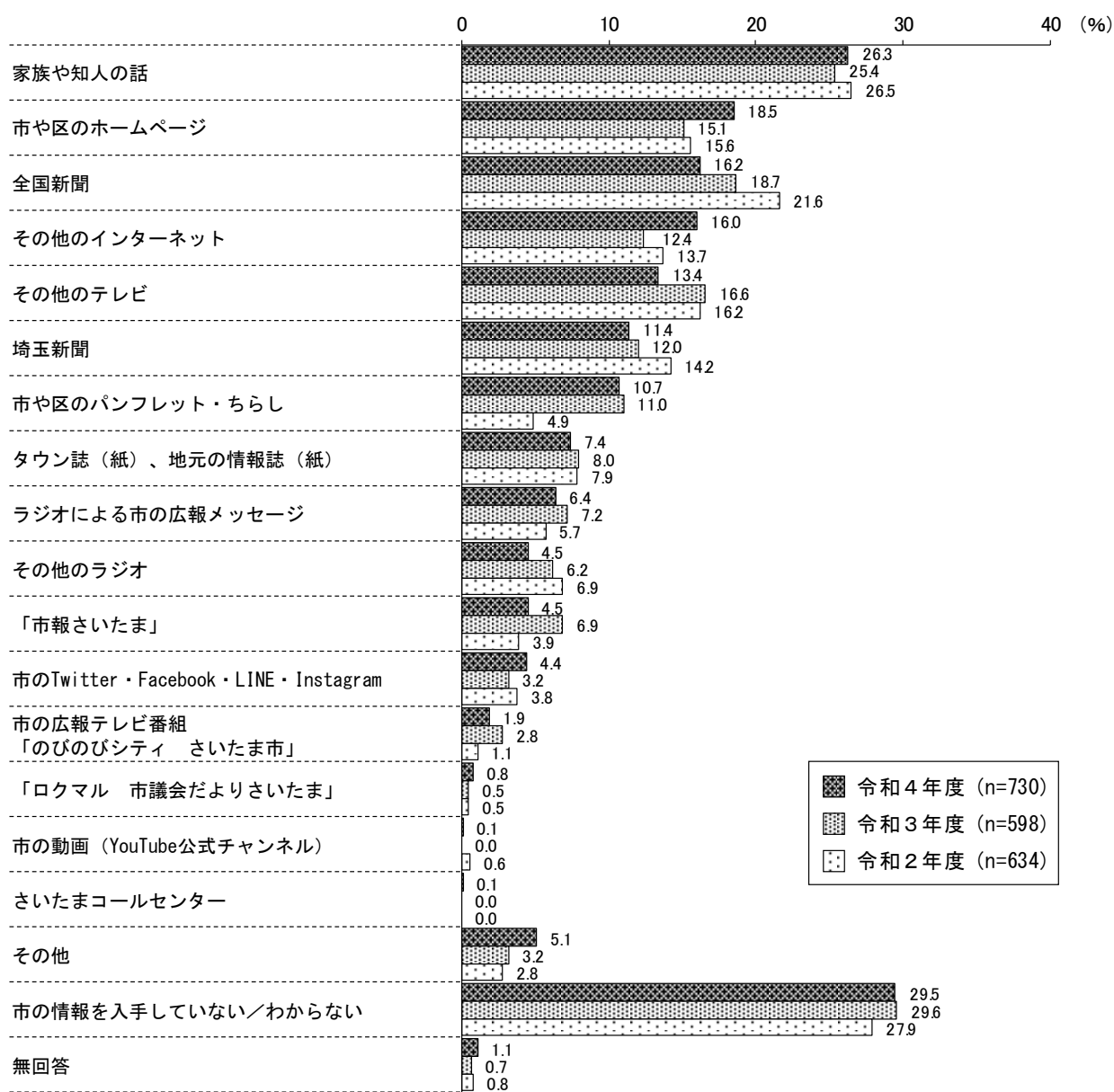
すべての項目で在住者が在勤者を上回った。「与野公園のバラ」は 27.7 ポイント、「見沼田んぼ」は 25.1 ポイント、「見沼通船堀」は 24.7 ポイント、「うらわ美術館」は 24.3 ポイント、在住者が在勤者より高く、20 項目中 13 項目で 10 ポイント以上差が開いた。(図2-6-1)

(7) さいたま市が発信する情報の入手方法

問3 あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。

(〇はいくつでも)

図2-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法



全体結果

「家族や知人の話」が26.3%で最も高く、「市や区のホームページ」(18.5%)、「全国新聞」(16.2%)が続いた。一方、「市の情報を入手していない／わからない」は29.5%であった。

過去2年間の調査結果と比較すると、「全国新聞」は減少傾向にある。(図2-7-1)

表 2-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法—性別、年代別、居住地域別—（上位 11 項目）

(%)												
	n	家族や知人の話	市や区のホームページ	全国新聞	その他のインターネット	その他のテレビ	埼玉新聞	市や区のパンフレット・ちらし	タウン誌（紙） 情報誌（紙）、地元の	ラジオによる市の広報 メッセージ	その他のラジオ	「市報さいたま」
全 体	730	26.3	18.5	16.2	16.0	13.4	11.4	10.7	7.4	6.4	4.5	4.5
< 性 別 >												
男 性	369	23.0	22.0	19.5	18.7	17.6	13.0	11.4	5.4	7.3	6.8	3.3
女 性	345	29.9	14.2	12.2	13.3	9.3	8.7	9.6	9.3	5.2	2.0	5.8
< 年 代 別 >												
18 ~ 29 歳	98	27.6	18.4	9.2	11.2	7.1	7.1	10.2	1.0	5.1	-	-
30 代	117	30.8	14.5	11.1	15.4	6.0	15.4	6.8	2.6	5.1	1.7	4.3
40 代	225	22.7	18.7	15.1	18.7	11.6	11.6	9.8	5.3	8.0	4.4	4.4
50 代	199	25.6	20.6	20.1	14.6	20.6	8.0	10.1	10.1	7.0	6.5	7.0
60 代	73	31.5	16.4	23.3	20.5	19.2	13.7	19.2	19.2	2.7	9.6	5.5
70 歳以上	5	20.0	20.0	20.0	-	40.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	136	33.8	21.3	13.2	16.9	9.6	15.4	11.8	13.2	5.9	4.4	3.7
近 隣 市 南 部	97	25.8	16.5	14.4	15.5	12.4	7.2	9.3	7.2	8.2	4.1	5.2
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	123	22.8	17.9	19.5	13.0	14.6	14.6	7.3	4.9	9.8	3.3	4.1
埼 玉 県 東 部 地 域	186	29.6	12.9	17.7	20.4	17.2	10.8	10.8	8.6	6.5	4.8	5.9
埼 玉 県 北 部 地 域	20	20.0	25.0	25.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	15.0	-
東 京 都 23 区	62	21.0	19.4	14.5	11.3	14.5	9.7	9.7	-	1.6	1.6	3.2
そ の 他 の 東 京 都	21	28.6	28.6	9.5	4.8	23.8	-	9.5	-	4.8	4.8	9.5
千 葉 県	35	11.4	25.7	8.6	17.1	8.6	2.9	17.1	2.9	-	5.7	-
神 奈 川 県	7	-	42.9	14.3	14.3	-	14.3	28.6	14.3	-	-	28.6
そ の 他	29	27.6	17.2	17.2	17.2	10.3	10.3	10.3	6.9	3.4	6.9	3.4

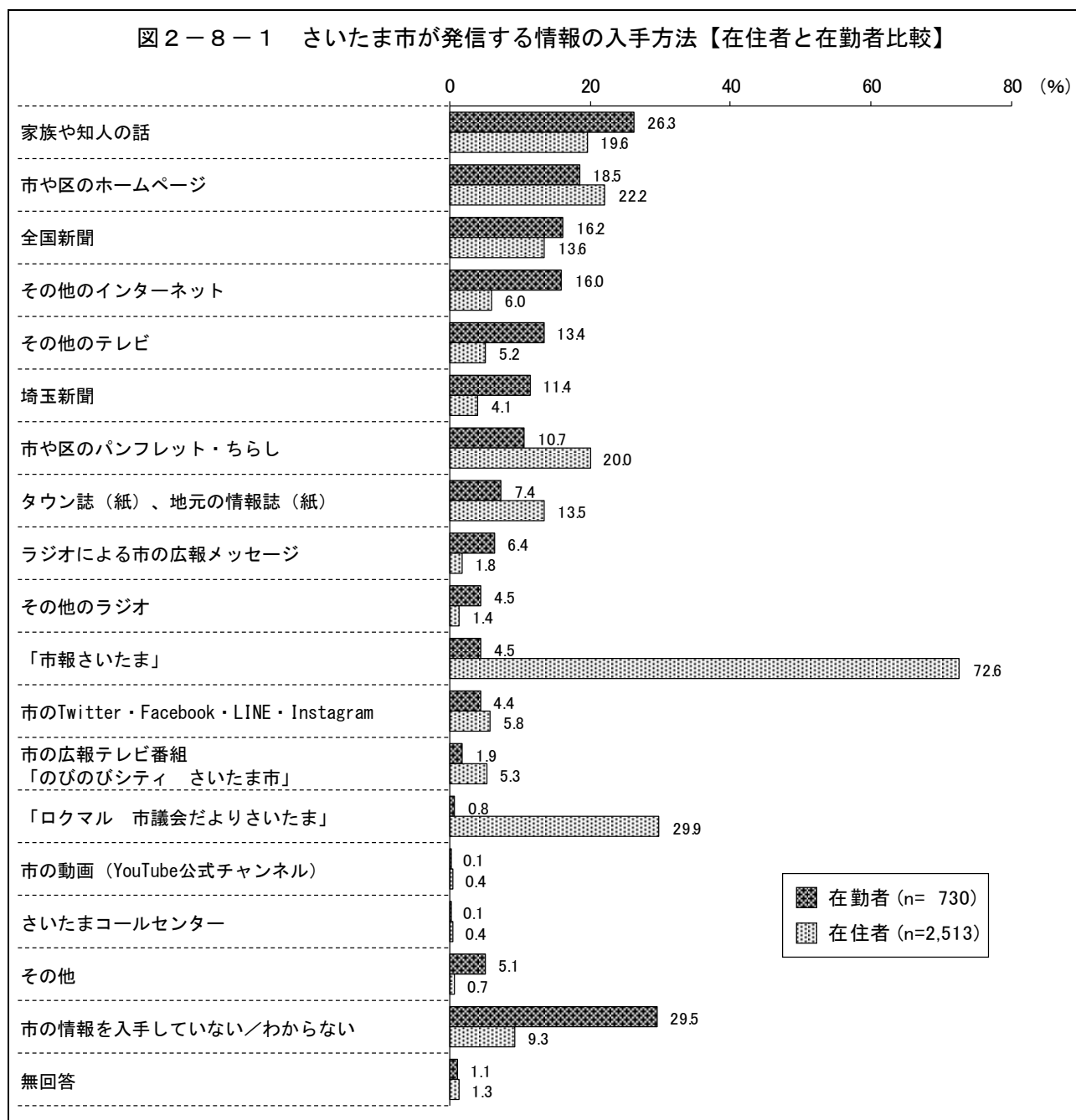
属 性 別

性別でみると、「家族や知人の話」は女性が男性より高く、「市や区のホームページ」、「全国新聞」、「その他のインターネット」、「その他のテレビ」は男性が女性より高かった。

年代別でみると、「家族や知人の話」は、30代（30.8%）と60代（31.5%）で3割台であった。「全国新聞」、「その他のテレビ」は年代が上がるにつれ高くなる傾向があった。

居住地域別でみると、「家族や知人の話」は「近隣市北部」（33.8%）で3割を超えた。（表 2-7-1）

(8) さいたま市が発信する情報の入手方法【在住者と在勤者比較】



全体結果

16項目中7項目で在勤者が在住者より高かった。「その他のインターネット」は10.0ポイント、「その他のテレビ」は8.2ポイント、「埼玉新聞」は7.3ポイント、在勤者が在住者より高かった。一方、「市報さいたま」は、在住者(72.6%)が在勤者(4.5%)より68.1ポイント高かった。また、「市の情報を入手していない／わからない」は、在勤者(29.5%)が在住者(9.3%)より20.2ポイント高かった。

(図2-8-1)

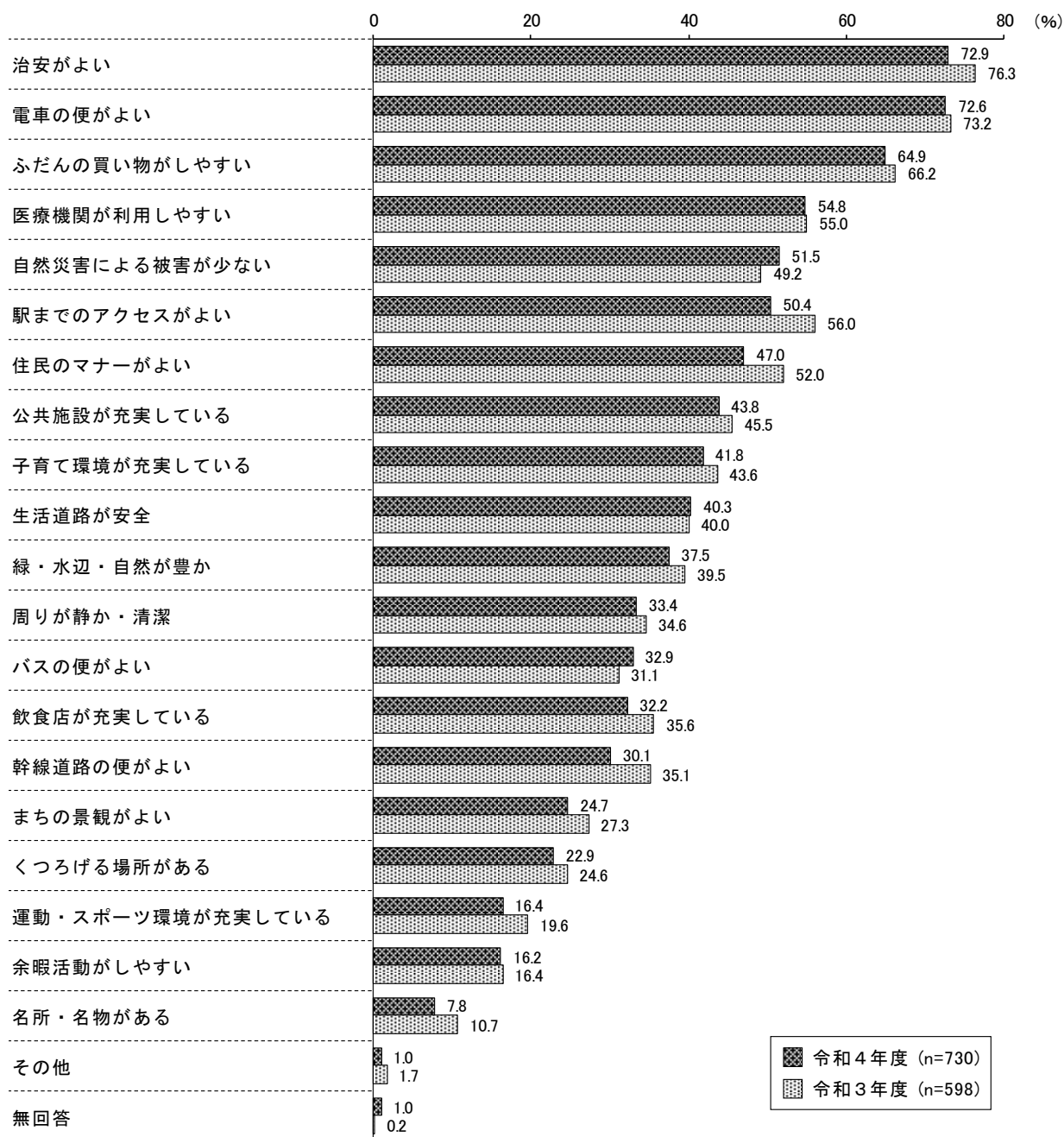
(9) 住みやすいまちの条件

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(1) あなたにとって、「住みやすいまち」とは、どのようなまちですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

図2-9-1 住みやすいまちの条件



全体結果

「治安がよい」が72.9%で最も高く、「電車の便がよい」(72.6%)、「ふだんの買い物がしやすい」(64.9%)が続いた。

令和3年度の調査結果と比較すると、「駅までのアクセスがよい」(50.4%)が5.6ポイント、「住民のマナーがよい」(47.0%)と、「幹線道路の便がよい」(30.1%)が5.0ポイント減少した。

(図2-9-1)

表2-9-1 住みやすいまちの条件—性別、年代別、居住地域別—（上位10項目）

	n	治安がよい	電車の便がよい	ふだんの買い物がしやすい	医療機関が利用しやすい	自然災害による被害が少ない	駅までのアクセスがよい	住民のマナーがよい	公共施設が充実している	子育て環境が充実している	生活道路が安全
全体	730	72.9	72.6	64.9	54.8	51.5	50.4	47.0	43.8	41.8	40.3
<性別>											
男性	369	72.4	72.6	58.8	49.3	48.5	46.6	48.0	42.8	39.8	38.5
女性	345	73.3	72.5	71.6	60.3	54.8	54.5	47.0	44.9	44.1	42.3
<年代別>											
18～29歳	98	67.3	79.6	60.2	43.9	43.9	51.0	45.9	52.0	42.9	32.7
30代	117	75.2	79.5	69.2	54.7	50.4	53.0	58.1	37.6	54.7	44.4
40代	225	72.4	69.3	68.4	52.4	48.4	46.2	41.3	42.2	39.6	42.2
50代	199	74.4	70.9	61.8	59.3	55.8	53.8	48.2	44.2	34.7	41.2
60代	73	75.3	68.5	65.8	63.0	63.0	50.7	50.7	47.9	49.3	39.7
70歳以上	5	40.0	60.0	40.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-
<居住地域別>											
近隣市北部	136	76.5	71.3	68.4	58.1	58.8	52.9	50.7	47.8	42.6	44.9
近隣市南部	97	77.3	72.2	68.0	55.7	47.4	51.5	45.4	38.1	41.2	41.2
埼玉県西部及び秩父地域	123	69.1	71.5	70.7	58.5	47.2	52.0	43.9	41.5	36.6	39.0
埼玉県東部地域	186	68.8	69.9	63.4	53.2	54.8	48.9	47.3	46.8	39.2	40.3
埼玉県北部地域	20	80.0	75.0	45.0	60.0	50.0	60.0	40.0	25.0	60.0	30.0
東京都23区	62	71.0	83.9	66.1	40.3	45.2	46.8	56.5	40.3	45.2	45.2
その他の東京都	21	76.2	71.4	57.1	38.1	42.9	38.1	38.1	33.3	38.1	38.1
千葉県	35	77.1	82.9	57.1	54.3	37.1	40.0	51.4	45.7	54.3	34.3
神奈川県	7	71.4	71.4	71.4	71.4	42.9	42.9	42.9	71.4	42.9	28.6
その他	29	72.4	69.0	55.2	65.5	69.0	58.6	44.8	55.2	51.7	34.5

属性別

性別でみると、「ふだんの買い物がしやすい」、「医療機関が利用しやすい」は女性が男性より10ポイント以上高かった。

年代別でみると、「電車の便がよい」は、30代以下で8割であった。また、「住民のマナーがよい」、「子育て環境が充実している」は30代で、「公共施設が充実している」は18～29歳で高かった。「医療機関が利用しやすい」、「自然災害による被害が少ない」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があった。

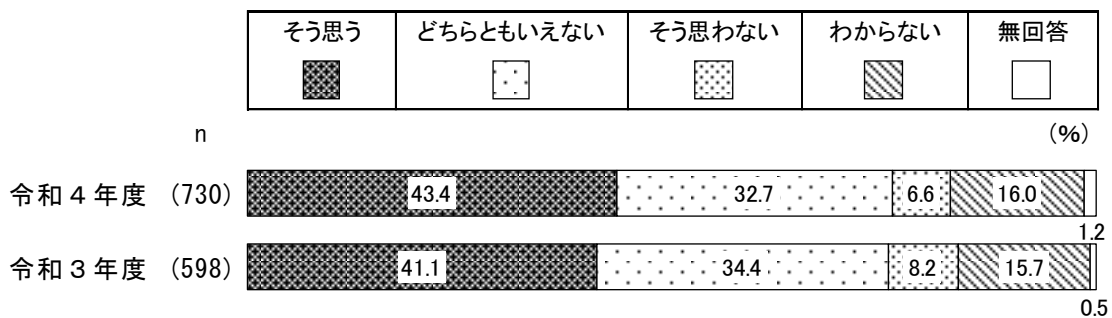
居住地域別でみると、「電車の便がよい」は、「東京都23区」(83.9%)で8割を超え、「治安がよい」は「近隣市南部」(77.3%)、「近隣市北部」(76.5%)で8割近くであった。(表2-9-1)

(10) さいたま市は住みやすいか

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(2) あなたは、さいたま市は「住みやすいまち」だと思いますか。(○は1つ)

図2-10-1 さいたま市は住みやすいか

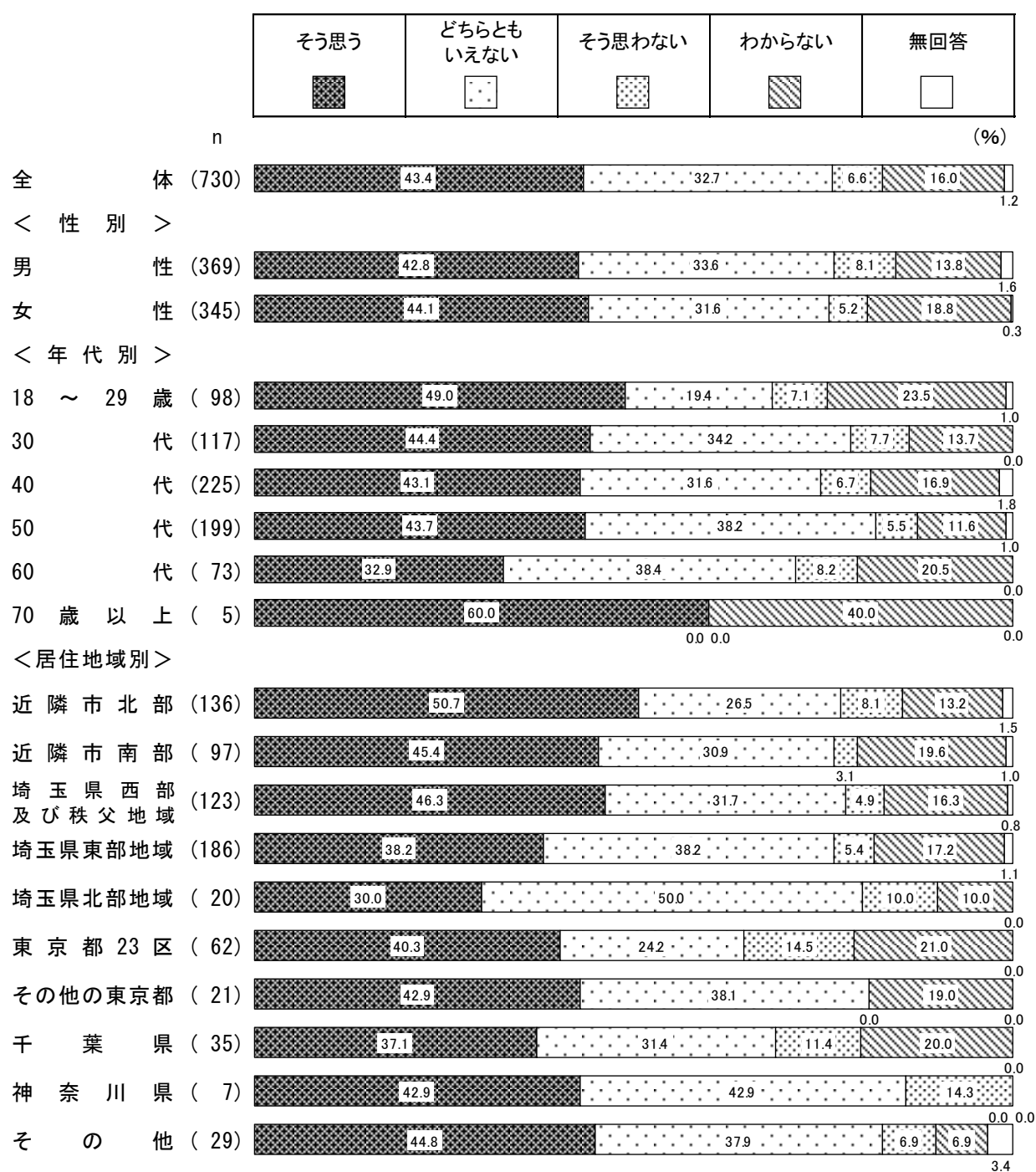


全体結果

「そう思う」が43.4%、「どちらともいえない」が32.7%、「そう思わない」が6.6%であった。「そう思う」が「そう思わない」を36.8ポイント上回った。

令和3年度の調査結果と、おおむね同じであった。(図2-10-1)

図2-10-2 さいたま市は住みやすいか—性別、年代別、居住地域別—



属 性 別

年代別でみると、「そう思う」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18～29歳で49.0%であった。

居住地域別でみると、「そう思う」は、「近隣市北部」(50.7%)でほぼ5割であり、「埼玉県西部及び秩父地域」(46.3%)、「近隣市南部」(45.4%)、「東京都23区」(40.3%)で4割台であった。

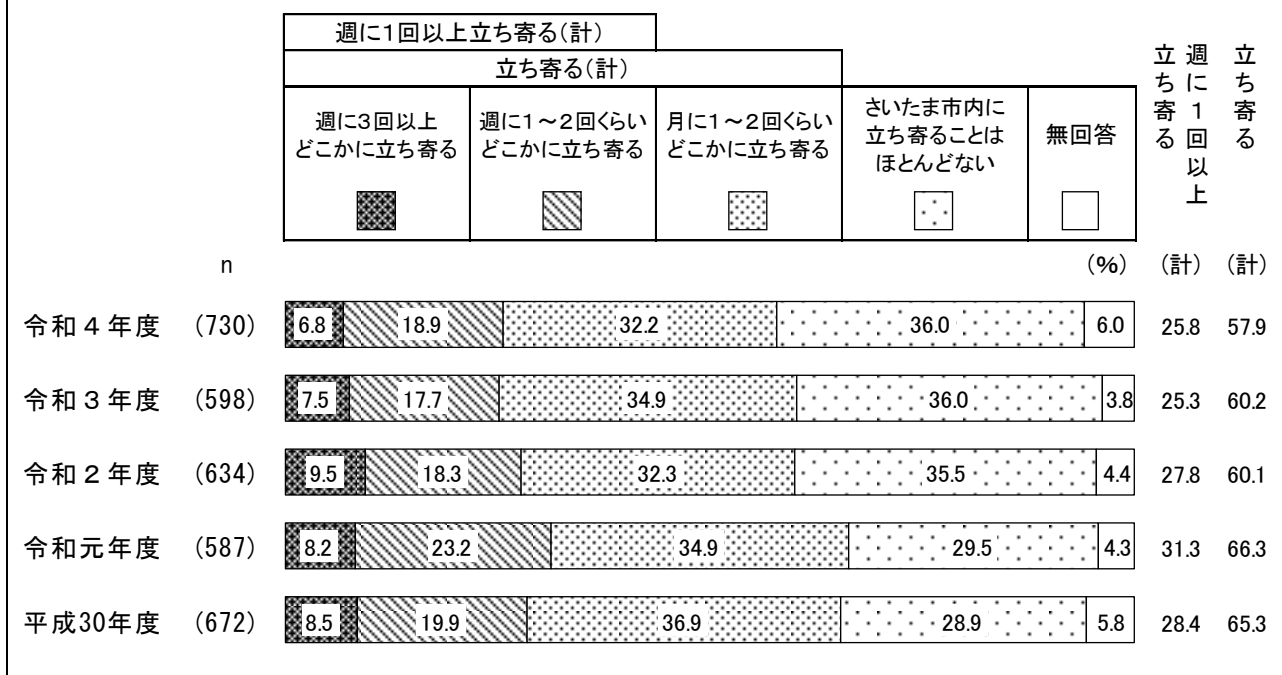
(図2-10-2)

3. 市内での活動

(1) 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度

問5 あなたは、お仕事が終わったあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄ることがありますか。(〇は1つ)

図3-1-1 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度



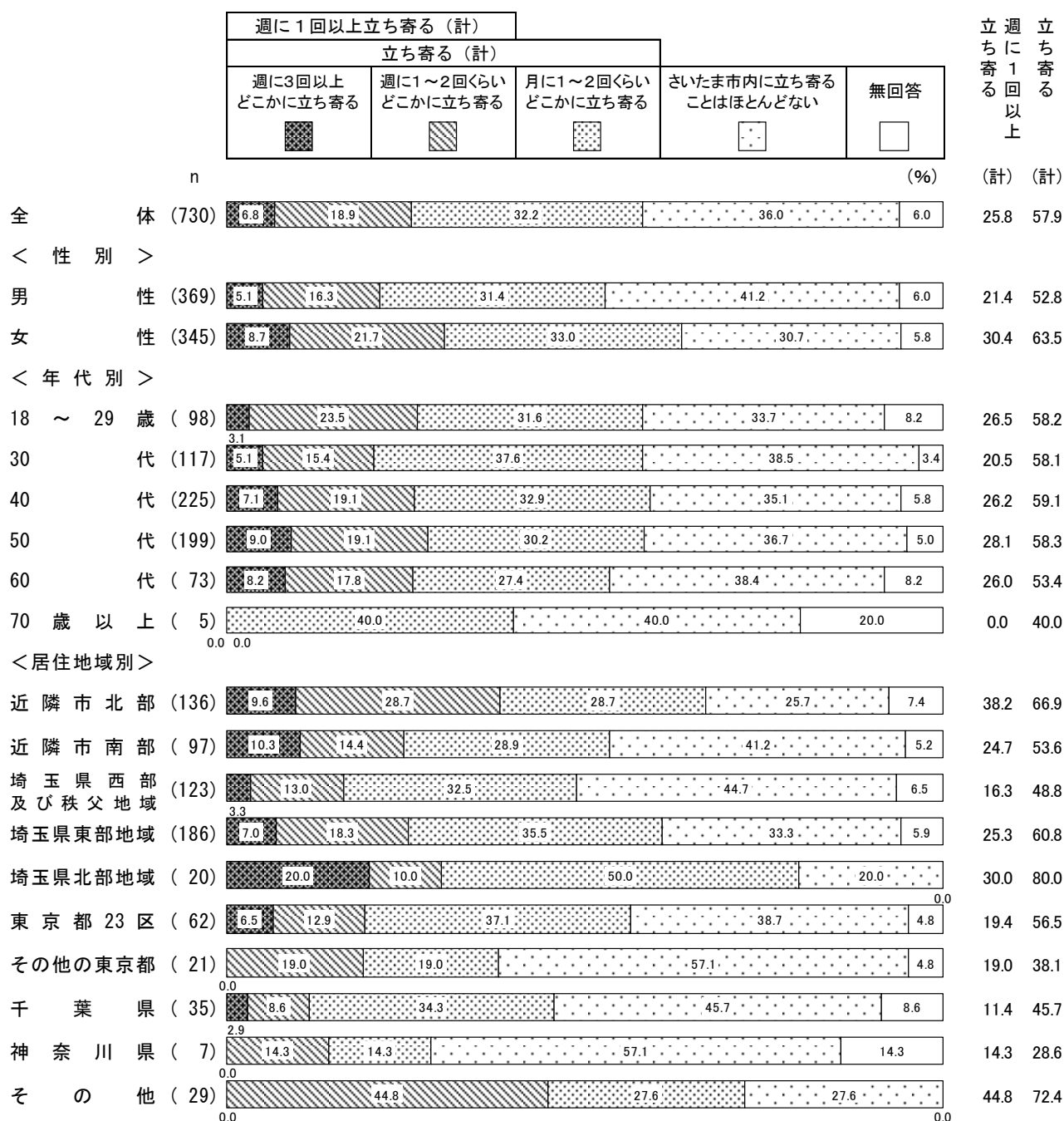
全体結果

「週に3回以上どこかに立ち寄る」(6.8%)と「週に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(18.9%)を合わせた『週に1回以上立ち寄る(計)』は、25.8%であった。さらに「月に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(32.2%)を合わせた『立ち寄る(計)』は、57.9%であった。

過去4年間の調査結果と比較すると、『立ち寄る(計)』は、令和元年度以降減少傾向にある。

(図3-1-1)

図3-1-2 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度—性別、年代別、居住地域別—



属性別

性別でみると、『週に1回以上立ち寄る (計)』は、女性 (30.4%) が男性 (21.4%) より 9.0 ポイント高かった。

居住地域別でみると、『週に1回以上立ち寄る (計)』は近隣市北部 (38.2%) が4割近くであった。

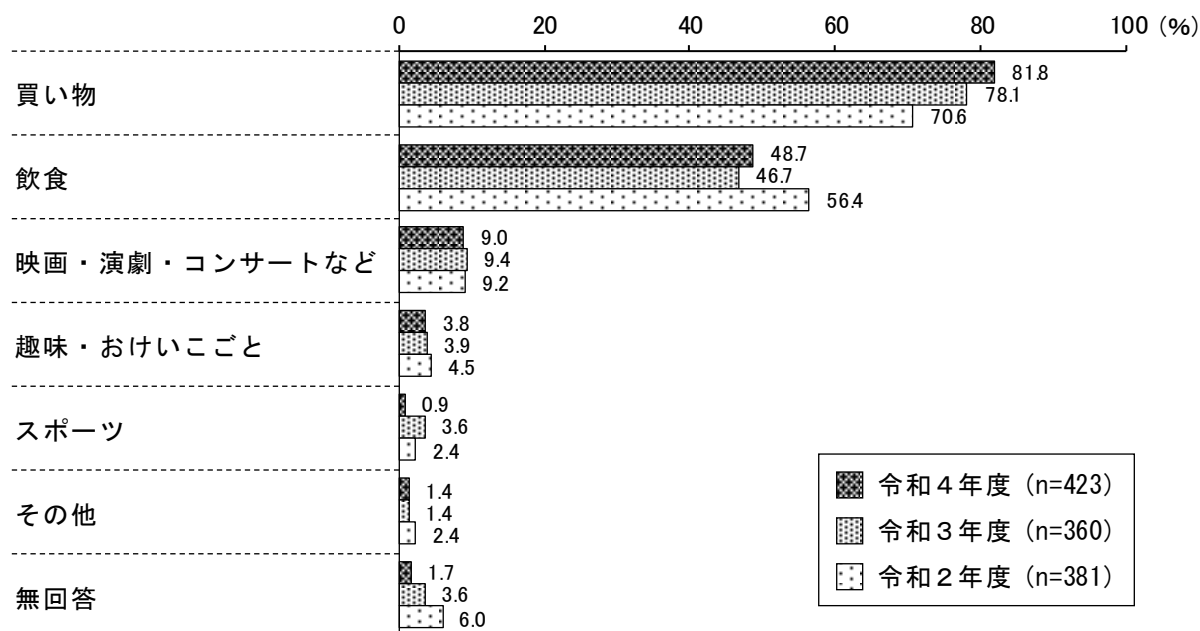
(図3-1-2)

(2) 立ち寄る目的

(問5で「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問5-1 どのような目的で市内に立ち寄りますか。(〇はいくつでも)

図3-2-1 立ち寄る目的



全体結果

「買い物」(81.8%)と「飲食」(48.7%)が高かった。

過去2年間の調査結果と比較すると、「買い物」が増加傾向にある。(図3-2-1)

表3-2-1 立ち寄る目的—性別、年代別、居住地域別—

		(%)							
	n	買い物	飲食	映画・演劇・コンサートなど	趣味・おけいこ	スポーツ	その他	無回答	
全 体	423	81.8	48.7	9.0	3.8	0.9	1.4	1.7	
< 性別 >									
男 性	195	71.3	52.8	5.6	5.1	1.5	2.1	2.1	
女 性	219	90.9	44.7	12.3	2.7	0.5	0.9	1.4	
< 年代別 >									
18 ~ 29 歳	57	75.4	63.2	14.0	5.3	-	3.5	-	
30 代	68	83.8	48.5	10.3	2.9	1.5	1.5	-	
40 代	133	78.2	51.9	6.0	3.0	-	0.8	3.0	
50 代	116	87.9	38.8	7.8	3.4	1.7	0.9	1.7	
60 代	39	82.1	43.6	15.4	5.1	2.6	2.6	2.6	
70 歳以上	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	
< 居住地域別 >									
近隣市北部	91	82.4	51.6	12.1	5.5	2.2	2.2	1.1	
近隣市南部	52	86.5	50.0	13.5	3.8	-	1.9	-	
埼玉県西部及び秩父地域	60	86.7	46.7	5.0	-	1.7	-	5.0	
埼玉県東部地域	113	79.6	47.8	7.1	5.3	-	2.7	0.9	
埼玉県北部地域	16	68.8	31.3	-	6.3	-	-	12.5	
東京都23区	35	77.1	51.4	17.1	2.9	-	-	-	
その他の東京都	8	100.0	37.5	-	12.5	-	-	-	
千葉県	16	62.5	62.5	6.3	-	-	-	-	
神奈川県	2	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
その他	21	85.7	38.1	9.5	-	4.8	-	-	

属性別

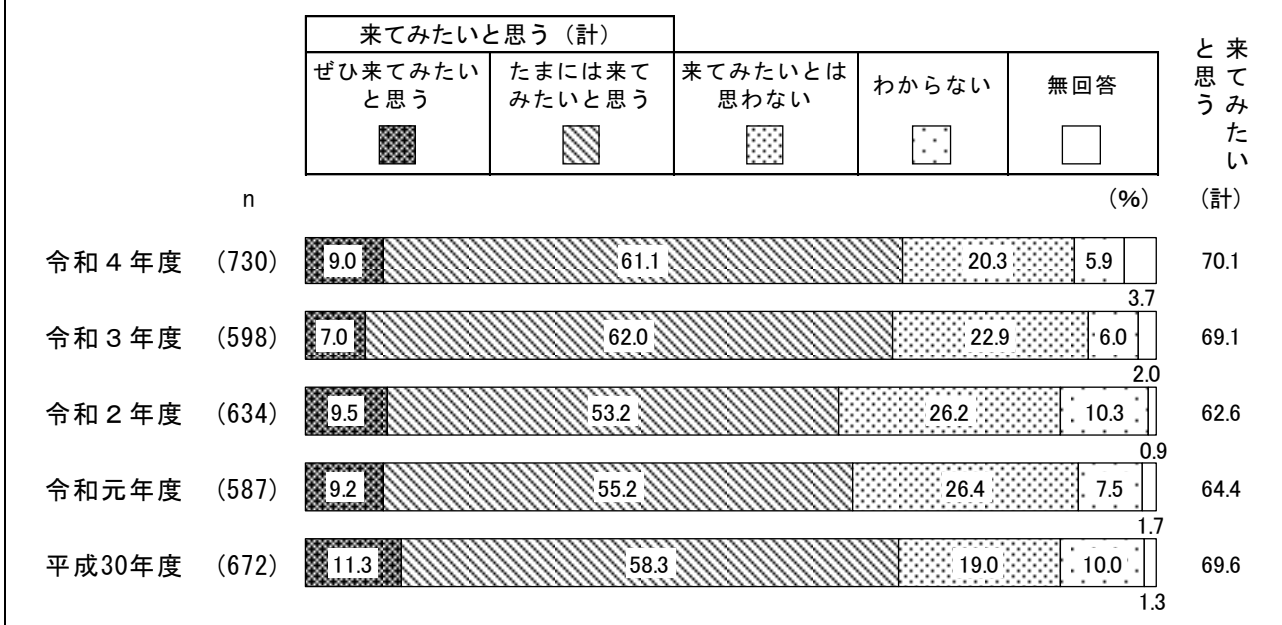
性別でみると、「買い物」は、女性（90.9%）が男性（71.3%）より19.6ポイント高く、「飲食」は、男性（52.8%）が女性（44.7%）より8.1ポイント高かった。

年代別でみると、「買い物」は、50代（87.9%）で9割近くであり、「飲食」は、18～29歳（63.2%）で6割を超えた。（表3-2-1）

(3) 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向

問6 あなたは、仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思いますか。
(○は1つ)

図3-3-1 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向



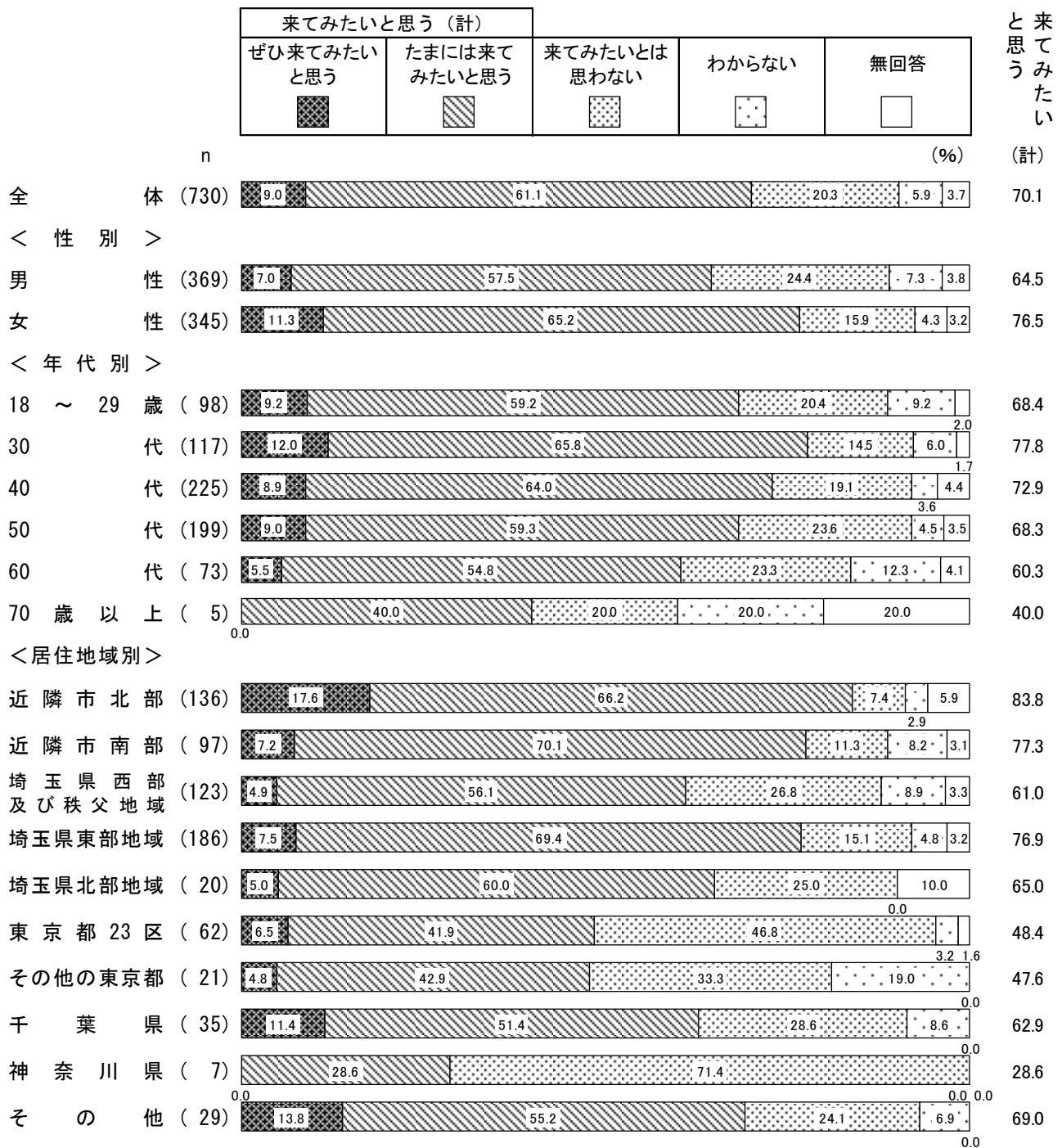
全体結果

「ぜひ来てみたいと思う」(9.0%)と「たまには来てみたいと思う」(61.1%)を合わせた『来てみたいと思う (計)』は、70.1%であった。

過去4年間の調査結果と比較すると、『来てみたいと思う (計)』は、令和2年度以降増加傾向にある。

(図3-3-1)

図3-3-2 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向—性別、年代別、居住地域別—



属性別

性別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、女性 (76.5%) が男性 (64.5%) より 12.0 ポイント高かった。

年代別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、30代 (77.8%) と 40代 (72.9%) で7割台であった。

居住地域別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、「近隣市北部」が 83.8% で最も高く、「近隣市南部」(77.3%)、「埼玉県東部地域」(76.9%) が8割近くで続いた。一方、「東京都23区」(48.4%) は5割近くであった。(図3-3-2)

